

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年03月03日

計画の名称	高槻市城跡地区暮らし・にぎわい再生事業												
計画の期間	平成29年度 ~ 令和03年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	高槻市												
計画の目標	<p>高槻市中心市街地は、近年、通行量が減少するなど都市のにぎわいにかげりが見られる。</p> <p>中心市街地のうち、阪急高槻駅以南のエリアについては、市の文化交流拠点である高槻現代劇場や、教育施設が集積する文教エリアであるとともに、中心市街地における貴重な緑の空間である城跡公園が存在するなど、本市の魅力となり得る高い潜在能力を秘めた場所である。このような中、新文化施設を整備し、区域における集客拠点を強化するとともに、駅周辺の回遊性を向上し、中心市街地の活性化を図る。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	7,465	A	7,465	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (R4末)
1	にぎわいのある駅周辺のまちづくりに向けた指標として、JR高槻駅及び阪急高槻市駅周辺の歩行者数・自転車通行量を増加させる。 JR高槻駅及び阪急高槻市駅周辺における歩行者・自転車の通行量の合計	72970人/日	人/日	77300人/日
2	区域における新たな集客拠点施設の拠点性の指標として、新文化施設の利用者数を増加させる。 新文化施設の年間利用者数	116784人/年	人/年	150000人/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
新文化施設の年間利用者数における当初現況値は、平成26年の現文化施設年間利用者数を記載。 計画の期間(事業期間)は6ヵ年の為、システム登録は2つに分かれる(その H29~R33 その R4~R4)												

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H29	H30	H31	R02	R03				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	高槻市	直接	高槻市	-	-	高槻市城跡地区暮らし・ にぎわい再生事業	計画区域 1.9ha	高槻市						7,465	1.504	-	
		事業種別：再開発																		
											小計						7,465			
											合計						7,465			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
高槻市社会資本総合整備計画評価委員会にて実施	令和6年度
	公表の方法
	高槻市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	高槻城公園芸術文化劇場が令和5年3月に開館し、施設の年間利用者数が旧市民会館時の116,784人から、156,859人に増加している。また、JR高槻駅及び阪急高槻市駅周辺における歩行者・自転車の1日あたり通行量が、72,970人から80,697人に増加し、中心市街地のにぎわいのある空間整備が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地内への雨水流出抑制施設（堀）や、市の防災倉庫の新設など防災面が向上した。 ・劇場の開館後、隣接地に民間飲食店が新たに開業するなど、地域の魅力向上に貢献している。 ・劇場の整備を契機に、旧市民会館や高槻警察署用地の再整備や、劇場周辺道路の美装化など、歴史的景観に配慮したまちづくりが行われている。
特記事項（今後の方針等）	
高槻城公園芸術文化劇場の更なる利活用や、高槻城公園の再整備などの取組を推進し、中心市街地内の魅力を高めることで、更なるにぎわい創出を図る。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	77300人 / 日	高槻城公園芸術文化劇場の開館（令和5年3月）をはじめ、安満遺跡公園の整備などの事業により、中心市街地の来街者が増加したため
	最終実績値	80697人 / 日	
2	最終目標値	150000人 / 年	高槻城公園芸術文化劇場において多数のイベント・公演が開催されており、利用者数が増加しているため
	最終実績値	156859人 / 年	